

第1回 中学校給食推進連絡協議会 会議録

- 開催日時 平成26年2月13日(木)
16:00~17:00
- 場 所 中原区役所5階505会議室
- 出席者 座長：川崎市PTA連絡協議会 小原会長
副座長：教育)中学校給食推進室 望月室長
委員：小学校校長会 鈴木校長、山崎校長
中学校校長会 渡邊校長、伊藤校長
川崎市PTA連絡協議会 伊藤副会長、宮嶋事務局
川崎市教職員組合 倉田書記長、阿部書記次長
教育)野本企画課長、古内教育環境整備推進室担当課長、
小田桐教職員課長、山田指導課担当課長、田宮健康教育課担当課長
森中学校給食推進室担当課長、北村中学校給食推進室担当課長
事務局：教育)二瓶中学校給食推進室担当係長

■内 容 (進行 座長 小原会長)

— 資料確認 —

— 委員自己紹介 —

座長挨拶 市P協に副委員長から携わり6年、この間中学校給食を考えてきた。中学校給食の実施はPTAにとって喜ばしいこと。実施にあたり、11月の基本方針に基づき、子どもの食育、栄養バランスに優れ、安全・安心な給食について、様々な考えを協議していきたい。

— 資料1~2説明 —

(質疑・意見要望) 特になし

— 資料3説明 —

(質疑・意見要望)

委 員 アンケート結果について、他都市と同様の傾向に思えるが。

事 務 局 単純比較は困難であるが、「中学校給食があった方がよい」では、大阪市や北九州市より若干ポイントが高かった。

委 員 印象として、「生徒」をみると「現状維持」に結構な回答があり、弁当に慣れていて不便を感じていないのかもしれない。「保護者」をみると、「痛みやすい」等に多くが「そう思う」と答えており、弁当づくりの苦労から給食要望へ繋がっているのでは。

委員 家にいると「食育」は馴染みが薄い。小さい頃、栄養バランスについては聞いたことがあるが、イメージが湧かない。そして、そういう子どもが親になっていく。保護者にとって難しい。

— 資料4説明 —

(質疑・意見要望)

委員 先日、千葉市に視察に伺った。給食未納対応として、未納者に相談のうえ児童手当からの天引きを行っているとのこと。千葉市はセンター方式で、配膳は手作業。食缶は密閉型を使用。生徒2名で運搬し、校舎内の階段を事故防止のため一方通行としていた。片付けに10分間、その後に清掃の時間を10分とることで、時間が延びた際に吸収していた。

その給食センターでは衛生管理が徹底されていた。トラックへの搬入搬出の際、給食センターの搬入口にパッキンが付いていて、外気が入らないよう工夫されていた。各学校への配送はコンテナを使用。設備投資の金額は相当要したであろうが。

委員 食の安全、異物混入やアレルギーへの対応を懸念。小学校では学校栄養職員が全校に配置されていない現状がある。

委員 各課題については、学校で改善できることと、行政で改善できることが分かれてくるだろう。時間などは学校で工夫。その辺の整理が必要。

委員 食育の観点から、全員喫食なのか選択制なのか、しっかり考えていきたい。

委員 全員喫食なのか選択制なのか。給食ではいろいろな献立で食事できる。給食のみで栄養を摂取している子どももいるかもしれない。大きな課題である。

委員 個人的な意見であるが、食育を考えると全員喫食。ただしアレルギーは別。しっかり議論していきたい。

事務局 次回は、本日の質疑・意見要望等を踏まえ、具体的な検討を行いたい。

■室長閉会挨拶

閉 会